

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 中国財務局長

【提出日】 平成24年8月10日

【四半期会計期間】 第62期第1四半期(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

【会社名】 福留ハム株式会社

【英訳名】 FUKUTOME MEAT PACKERS, LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 中島修治

【本店の所在の場所】 広島市西区草津港二丁目6番75号

【電話番号】 082(278)6161(代表)

【事務連絡者氏名】 経理支援部長 明石嘉典

【最寄りの連絡場所】 広島市西区草津港二丁目6番75号

【電話番号】 082(278)6161(代表)

【事務連絡者氏名】 経理支援部長 明石嘉典

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第61期 第1四半期連結 累計期間	第62期 第1四半期連結 累計期間	第61期
会計期間	自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日
売上高 (千円)	7,301,343	6,876,284	28,747,716
経常利益 (千円)	171,858	23,772	509,118
四半期(当期)純利益又は四 半期純損失() (千円)	127,980	32,278	219,807
四半期包括利益又は包括利 益 (千円)	138,918	104,183	355,694
純資産額 (千円)	4,561,001	4,623,383	4,777,675
総資産額 (千円)	17,826,783	18,315,132	17,552,478
1株当たり四半期(当期)純 利益金額又は四半期純損失 金額() (円)	7.66	1.93	13.16
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	25.6	25.2	27.2

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第61期及び第61期第1四半期連結累計期間は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、第62期第1四半期連結累計期間は1株当たり四半期純損失であり潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、前連結会計年度における有価証券報告書「第2 事業の状況4 . 事業等のリスク」に記載の事項から重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日～6月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災からの復旧・復興需要に加えてエコカー減税などの効果により、個人消費の持ち直しが緩やかにみられるものの、欧州経済の不安定要因や円高の長期化、夏場に向けての電力不足懸念など、景気の先行きは依然として不透明な状況であります。

当業界におきましては、包装資材及び燃料の高騰による製造コストの上昇及び消費者の節約志向や市場競争激化による加工食品価格の下落が続くなど、依然として厳しい環境で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、「お客様第一にあふれる味覚をお届けします」をモットーに「安心・安全・美味しさ」を追求し、経営理念のさらなる浸透を図るとともに、コンプライアンスを重視した社員教育を実施いたしました。また、生産革新に基づく「ローコスト・オペレーション」を重視し、コスト削減に努めてまいりました。

販売に関しましては、当社の登録商標である「ロマンティック街道」シリーズや「ソースが決めてのおいしいハンバーグ」シリーズ、当社のオンリーワン商品である「花ソーセージ」の販売強化を図るとともに、当社ホームページにて、ネット通販分野での販売強化を図るために、ネットショップ「夢ネットふくとめ」において、お得なキャンペーン情報などを展開しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、68億76百万円（前年同四半期比5.8%減）となりました。利益につきましては、営業利益は7百万円（前年同四半期比95.5%減）、経常利益は23百万円（前年同四半期比86.2%減）、四半期純損失は32百万円（前年同期は1億27百万円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

加工食品事業

加工食品事業につきましては、「ソースが決めてのおいしいハンバーグ」シリーズは、引続き好調に推移いたしました。ハム・ソーセージ等においては、消費者の低価格志向や企業間競争の激化に伴う販売価格の下落により低迷するなか、当社ソーセージの主力である「花ソーセージ」は好調が継続しておりますが、ハム・ソーセージ等の落ち込みをカバーするまでにはいたりませんでした。

その結果、売上高は32億8百万円（前年同期比7.1%減）、セグメント利益（営業利益）は1億円（前年同期比45.6%減）となりました。

食肉事業

食肉事業につきましては、ブランド牛・豚においては、拡販につとめましたが、消費者の節約志向等の影響もあり前年を下回りました。国内牛においては、昨年のセシウム問題から回復傾向にあり、相場の回復がみられ、売上高は微増となりました。国内豚・輸入ミートにおいては、売上高・数量ともに前年を下回って推移いたしました。

その結果、売上高は36億68百万円（前年同期比4.6%減）、セグメント利益（営業利益）は34百万円（前年同期比61.0%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

（資産の部）

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ7億62百万円増加の183億15百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ9億43百万円増加の90億42百万円となりました。主な要因は、現金及び預金7億73百万円、商品及び製品93百万円及び原材料及び貯蔵品57百万円の増加によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1億80百万円減少の92億72百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の減価償却実施額等93百万円によるものであります。

（負債の部）

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ9億16百万円の増加の136億91百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ5億73百万円増加の99億54百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金3億24百万円、未払金2億46百万円の増加と賞与引当金1億4百万円の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ3億43百万円増加の37億36百万円となりました。主な要因は、長期借入金3億14百万円の増加によるものであります。

（純資産の部）

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億54百万円減少の46億23百万円となりました。主な要因は、利益剰余金82百万円、その他有価証券評価差額金71百万円の減少によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は44百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間における研究開発活動の状況に重要な変更等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	68,000,000
計	68,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年8月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	17,000,000	17,000,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は1,000株 であります。
計	17,000,000	17,000,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年6月30日		17,000,000		2,691,370		1,503,937

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間のため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております

【発行済株式】

平成24年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式297,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 16,591,000	16,591	
単元未満株式	普通株式 112,000		
発行済株式総数	17,000,000		
総株主の議決権		16,591	

【自己株式等】

平成24年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 福留ハム株式会社	広島市西区草津港2丁目 6番75号	297,000		297,000	1.75
計		297,000		297,000	1.75

(注) 株主名簿上は、当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が1,000(議決権1個)あります。
 なお、当該株式数は上記【発行済株式】の「完全議決権株式(その他)」の欄に含めております。

2 【役員 の 状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の変動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,405,613	4,179,049
受取手形及び売掛金	3,371,216	3,329,176
商品及び製品	870,707	963,731
仕掛品	50,135	59,077
原材料及び貯蔵品	281,750	339,060
繰延税金資産	95,747	143,966
その他	27,006	38,320
貸倒引当金	3,009	9,899
流動資産合計	8,099,166	9,042,482
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,385,409	2,340,008
機械装置及び運搬具（純額）	374,395	358,104
土地	3,350,427	3,347,087
リース資産（純額）	366,141	340,316
その他	31,495	29,323
有形固定資産合計	6,507,869	6,414,839
無形固定資産		
電話加入権	21,201	21,201
その他	1,832	1,942
無形固定資産合計	23,033	23,143
投資その他の資産		
投資有価証券	1,667,764	1,557,667
出資金	85,517	85,517
敷金及び保証金	133,259	133,453
保険積立金	21,107	21,277
繰延税金資産	948,659	972,698
その他	251,441	265,831
貸倒引当金	185,341	201,778
投資その他の資産合計	2,922,408	2,834,667
固定資産合計	9,453,311	9,272,650
資産合計	17,552,478	18,315,132

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,559,963	2,884,708
短期借入金	5,853,600	5,886,400
未払金	483,486	729,575
未払費用	89,742	93,189
未払法人税等	34,581	99,364
賞与引当金	214,546	109,868
リース債務	103,515	103,670
その他	42,240	48,050
流動負債合計	9,381,676	9,954,827
固定負債		
長期借入金	966,500	1,281,300
退職給付引当金	1,889,308	1,940,121
役員退職慰労引当金	228,731	232,781
リース債務	268,399	242,484
その他	40,186	40,234
固定負債合計	3,393,126	3,736,922
負債合計	12,774,802	13,691,749
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,691,370	2,691,370
資本剰余金	1,503,937	1,503,937
利益剰余金	467,855	385,468
自己株式	74,034	74,034
株主資本合計	4,589,129	4,506,741
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	187,564	115,652
その他の包括利益累計額合計	187,564	115,652
少数株主持分	982	989
純資産合計	4,777,675	4,623,383
負債純資産合計	17,552,478	18,315,132

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	7,301,343	6,876,284
売上原価	5,888,233	5,620,603
売上総利益	1,413,110	1,255,681
販売費及び一般管理費	1,253,427	1,248,437
営業利益	159,682	7,244
営業外収益		
受取利息及び配当金	12,357	15,007
不動産賃貸料	16,307	15,878
その他	13,604	12,248
営業外収益合計	42,269	43,134
営業外費用		
支払利息	29,775	26,606
その他	318	-
営業外費用合計	30,094	26,606
経常利益	171,858	23,772
特別利益		
固定資産売却益	4,822	-
投資有価証券売却益	-	1,061
収用補償金	38,570	-
特別利益合計	43,392	1,061
特別損失		
投資有価証券評価損	-	25,094
固定資産除却損	-	5
減損損失	-	3,340
特別損失合計	-	28,440
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	215,251	3,606
法人税、住民税及び事業税	133,264	93,828
法人税等調整額	45,998	65,162
法人税等合計	87,265	28,665
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	127,985	32,272
少数株主利益	4	6
四半期純利益又は四半期純損失()	127,980	32,278

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	127,985	32,272
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,932	71,911
その他の包括利益合計	10,932	71,911
四半期包括利益	138,918	104,183
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	138,913	104,190
少数株主に係る四半期包括利益	4	6

【継続企業の前提に関する事項】

該当事項はありません。

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
受取手形	7,094千円	5,780千円
支払手形	千円	7,831千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
減価償却費	107,908千円	100,743千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月13日 取締役会	普通株式	50,110	3	平成23年3月31日	平成23年6月10日	利益剰余金

2. 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月14日 取締役会	普通株式	50,108	3	平成24年3月31日	平成24年6月8日	利益剰余金

2. 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	3,454,821	3,846,522	7,301,343
セグメント間の内部売上高 又は振替高			
計	3,454,821	3,846,522	7,301,343
セグメント利益	185,540	87,347	272,888

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	272,888
全社費用(注)	113,205
四半期連結損益計算書の営業利益	159,682

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	加工食品事業	食肉事業	
売上高			
外部顧客への売上高	3,208,100	3,668,184	6,876,284
セグメント間の内部売上高 又は振替高			
計	3,208,100	3,668,184	6,876,284
セグメント利益	100,844	34,029	134,874

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	134,874
全社費用(注)	127,629
四半期連結損益計算書の営業利益	7,244

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	加工食品事業	食肉事業	計		
減損損失				3,340	3,340

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額 ()(円)	7.66	1.93
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	127,980	32,278
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額 ()(千円)	127,980	32,278
普通株式の期中平均株式数(千株)	16,703	16,702

(注) 1. 前第1四半期連結累計期間において潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 当第1四半期連結累計期間において潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成24年5月14日開催の取締役会において、平成24年3月31日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり期末配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	50,108千円
1株当たりの金額	3円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成24年6月8日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年 8月 9日

福留八ム株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 近藤 敏博

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中原 晃生

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている福留八ム株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、福留八ム株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。